



《 小野連携型小中一貫校便りNo.3 R 3 / 1 0 / 1 5 》

ま な び や

小野の学舎



文責

藤岡市立小野小学校
藤岡市立小野中学校

校長
校長

村田仁志 (22-2546)
大倉 猛 (24-0104)

小野連携型小中一貫校「学びのつながり」を生かした3つの取組

2学期が始まり、1ヶ月半が経ちました。本年度は、夏休み中に東京オリンピックが開催され、世界各国のアスリートから一生懸命頑張ることの大切さを教えてもらいました。しかしその一方、新型コロナウイルス感染症の拡大で、9月末日まで群馬県に「緊急事態宣言」が発令されるなど、学校生活は、未だに多くの制限の中で行われております。保護者の皆様、地域の方々からご協力いただくことも例年通りとはいきませんが、そんな中でも積極的にお力添えいただいておりますことに、いつも大変感謝しております。ありがとうございます。

さて、小野連携型小中一貫校においても、小・中学校の職員が一同に集まって研修を行うことが難しい状況ですが、今年度も9年間の「学びのつながり」を生かした学力向上を図り、「夢に向かってかがやく子」の育成を進めています。

今回は、この9年間の「学びのつながり」を生かした、3つの取組をご紹介します。

取組1 学習スタンダードの励行と、つなぎ教材を効果的に活用した授業の実施について

小野一貫校では、子供たちが「これまで」どのような学習をし、「これから」どのような学習につながるのかを踏まえ、「ここでは」何を教えるのかを明確にした授業づくりに取り組んでいます。そして、子供が「ここでは」何を学習するのかという「めあて」をもって学習し、自分の言葉で「まとめ」、最後に今日の学習を「振り返る」という流れ（学習スタンダード）で授業を行っています。子供が考える際には、「これまで」に学習した教材などを掲示物やプリント、タブレットを使って「つなぎ教材」として活用したり、教師がつなぎ内容を示したりしながら学習効果を高めています。

取組2 一貫校研修の充実による、授業改善の推進について

毎年、小野連携型小中一貫校として、各教科の「指導の重点」を定めています。例えば『小野の国語』は、「言語活動を通して、言葉による見方・考え方を働かせ、主体的に自分の意見や考えを伝え合うことができる」など、9年間で身に付けさせたい力を、各教科ごとに小・中学校の教員が協力して考えました。その重点に沿って、高めたい力を明確にして授業を行っています。

また、今年度は、5月29日（金）に行われた小野小の研究授業、10月14日（木）に行われた小野中の研究授業を小・中学校の教員が参観し合い、意見交流しました。今後も授業や教員同士のつながりをさらに強化しながら授業改善に努めていきます。

取組3 兼務教員の効果的な配置による、小学校の教科担任制の充実について

小野中の数学・英語・美術の教員（兼務教員）が、年間をとおして小野小6年生の算数、英語、図工の授業を担当しています。この実践により、小学校段階から教科担任制（教科毎に授業者が替わる）が実施でき、子供たちはより専門的な指導を受けることができます。

また、6年生にとっては、中学校に進学したときに、入学当初から顔見知りの先生がいる安心感につながり、中学校生活にスムーズに適応できるようになっています。



＜小野中の数学・英語・美術教員による、6年生の算数（左）・英語（中）・図工（右）の授業＞



おのハンモックだより

No.3

地域学校協働本部/地域コーディネーター R3.10.15 発行

2学期が始まり1か月半が過ぎました。未だ授業ボランティアが再開されない中、9月はじめに更生保護女性会の方々が小野小学校にて登校時の挨拶運動に参加してくださいました。校庭には所々に水たまりが残り、少し肌寒い朝でしたが、東・西・南の各門に数名ずつ立ち、列になって登校してくる子供たちに声をかけてくださっていました。コロナ禍のため大きな声も出せず、ハイタッチも行えませんでした。子供たちが元気に登校してくる様子を見守っていただきました。



東門の様子



西門の様子

コロナ禍だけどできた！(^▽^)/令和3年版チャレンジ WEEK！

今年度のチャレンジウィークは生徒たちが各企業に行ったアンケートに加え、社会でご活躍されている数名の方々に来校していただき、多目的室より、リモートにて貴重なお話をさせていただきました。



藤岡消防本部の〇〇 〇〇さん(左)と救護係の〇〇 〇〇さん(右)

〇〇さんのいる予防課は、火災予防週間のお知らせや学校での避難訓練、ガソリンスタンド完成前の検査などの業務があります。また平成18年度より火災報知器の設置が義務付けられ、10年を超えると交換時期になるので、その周知にも力を入れているとのことでした。さっそく自宅の警報機が鳴るか試したところ、全てが作動したので安心しました。〇〇さんは小野中学校の卒業生で、藤岡で初めての女性消防士です。火災や救急の現場で日々活動しています。体力に自信があること、やりがいを感じる仕事をしたいと消防士を目指し、現在も筋トレを欠かさず行うなど努力しているそうです。「困っている人を見かけた

困っている人を見かけたら手を差し伸べるようにしましょう。

「感謝」と「謙虚」が大切なのか・・・。



真剣に話を聞いている生徒たち

ら手を差し伸べよう」と生徒たちに語りかけ、お二人の実直な人柄が頼もしく感じられました。(〇〇〇〇)



〇〇さんは、幼児からシルバークラスまで120名を超えるダンスチームを主宰するかたわら、高崎市の社会教育講師として依頼があれば幼稚園、公民館、学童などで幅広くダンスを教えています。また、「ぐんまちゃん」と共に毎月インスタライブを開催しており、群馬県 YouTube チャンネルでも見ることが出来ます。コロナ禍前は、県内各地でぐんまちゃんと共にイベントでMCをするなど勢力的に活動されていました。一見、華やかに見える仕事ですが、現在に至るまでの努力、苦労、決断、チャレンジの道のりについて話してくださいました。

【〇〇さんが大切にしてきたこと】①自分で決める。②決めたことはやり通す。③感謝と謙虚。自分で決めたことをやり通してきた高岩さんは、「わが生涯に一片の悔い無し」と話してくれました。そして小野中生に「何でもチャレンジしよう」「自分で決めよう」「周りにいる人を大切にしよう」と言葉を贈り、「ダンスとは身体に良い！有酸素運動！振付を覚えることで脳トレになる！楽しくて感動もある！」と話し、「ダンスは最高の趣味だと思っています。将来の選択肢が広がるよう中学時代の勉強を大切にしてください。」と言葉を贈ってくださいました。(〇〇〇〇)



ダンスチーム TMJ 代表・高崎市社会教育講師の 〇〇 〇〇さん